

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	平成29年6月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成29年6月23日（金）午後1時30分
会議時間	午後1時32分から午後4時20分まで（2時間48分）
場 所	市役所302会議室
出 席 者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 豊田君子 委員 大谷純應 委員 （計：5人）
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	大河原幸夫 教育部長 早川俊之 教育企画課長 川村佳典 おいしい給食課長 乗松里好 すこやか子ども課長 鴻野元希 育ちの森所長 平野邦孝 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 袋井図書館長 伊藤千ひろ 教育企画課総務企画係長 （合計：9人）
会議に付した 事件	別紙「平成29年6月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

平成 29 年 6 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成 29 年 6 月 23 日（金）午後 1 時 32 分開会

場所：袋井市役所 302 会議室

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 会議録の承認

日程第 4 教育長報告

日程第 5 教育部月例事業報告

日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）議決事項

議第 11 号 袋井市教育委員会の教育長に対する事務委任規則の一部改正について

（2）協議事項

協第 39 号 いじめ問題調査報告書に対する意見書への回答について

（3）報告事項

報第 75 号 幼小中一貫教育の推進について

報第 76 号 平成 28 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

報第 77 号 公印の告示について

報第 78 号 寄附品「フレンチホルン」等の受納について

報第 79 号 学校給食費の収納状況について

報第 80 号 多子世帯、ひとり親世帯等の保育料負担軽減について

報第 81 号 保育料の収納状況について

報第 82 号 平成 29 年度教育用図書の新着について

報第 83 号 教育振興費寄附金等の受納について

報第 84 号 平成 29 年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について

- 報第 85 号 袋井市学術交流振興基金運営委員会の解嘱又は委嘱について
報第 86 号 静岡県青少年の非行・被害防止強調月間の取り組みについて
報第 87 号 山梨地区（祇園）祭典補導本部の設置について
報第 88 号 一般社団法人勸農報徳社からの寄附金について
報第 89 号 袋井市子ども早期療育支援センター運営協議会委員の委嘱又は任命について

日程第 7 その他

(1) 連絡事項

- ア 幼小中つながる通信 vol. 5～vol. 8
イ 平成 29 年度袋井の教育（第二版）
ウ 平成 29 年度公民館まつり等の日程について（ご案内）
エ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成 29 年 7 月号

(2) 次回定例会等の予定について

- | | | |
|------------|-------------------------|---------|
| 7 月臨時教育委員会 | 7 月 11 日（火）午後 1 時 30 分～ | 302 会議室 |
| 7 月定例教育委員会 | 7 月 20 日（木）午後 1 時 30 分～ | 301 会議室 |

(3) その他

日程第 8 閉 会

平成 29 年 6 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

1 開会

●鈴木教育長

それでは、ただ今から、平成 29 年 6 月袋井市教育委員会定例会を開会させていただきます。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、前嶋康枝委員 及び 豊田君子委員 を指名いたします。

3 会議録の承認

4 教育長の報告

●主な報告事項

- ・思考ツール研究授業（6 月 7 日）
 - ・市議会一般質問（6 月 13 日、14 日）
 - ・就学前教育推進会議（6 月 20 日）
- その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・平成 29 年度第 1 回新袋井フォーラム講座（5 月 27 日）

●おいしい給食課

- ・平成 29 年度第 1 回袋井市立学校給食センター運営協議会（5 月 26 日）

●学校教育課

- ・授業改善推進校研修会（5 月 31 日、6 月 7 日）
- ・Q-U研修会（6 月 15 日）

●すこやか子ども課

- ・袋井市笠原児童館運営協議会（5 月 31 日）
- ・第 1 回袋井市の就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会（5 月 31 日）
- ・こども未来プロジェクト in エコパ（6 月 10 日、11 日）

●育ちの森

- ・第 1 回支援研修会（6 月 8 日）

●生涯学習課

- ・第1回社会教育委員会（5月29日）
- ・少年補導センター補導員研修会（5月30日）
- ・公民館運営審議会（6月2日）
- ・第1回家庭教育学級リーダー研修会（6月21日）

6 議事

●鈴木教育長

議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取り扱いについてお諮りいたします。

協第39号については、袋井市個人情報保護条例に基づき、個人の権利利益の侵害の防止のため、非公開としたいと思いますが、異議はありませんか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

それでは、協第39号を非公開といたします。

【議決事項】

(1) 議第11号 袋井市教育委員会の教育長に対する事務委任規則の一部改正について

●教育企画課長

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第6号にあわせて、この規則の第1条第6号に第27条について追加するものです。また、県費負担教職員の人事評価を行うことについては、県費負担教職員の人事評価は県の教育委員会が実施し、評価者として市町の教育長が指定されており、県のシステムで行うことになっていることから、実情に合わせて、教育長に委任できない事務から削除するものです。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり議決することとします。

【協議事項】

(2) 協第 39 号 いじめ問題調査報告書に対する意見書への回答について

(非公開)

【報告事項】

(3) 報第 75 号 幼小中一貫教育の推進について

●教育企画課長

本年度の幼小中一貫教育の推進について、取り組む内容を説明します。本市では、学力向上や不登校減少などの教育課題の改善と、これからの社会を生き抜く上で必要とされている力の基礎を身に付けるために、3月に「袋井市小中一貫教育基本方針」を策定しました。本年度は、資料の2(1)から(5)まで課題要点を中心に進めます。

まず、基本方針等の周知については、全ての小中学校のPTA総会で保護者に説明しました。地域の方には、コミュニティスクールなどにおいて周知を図ります。また、事務局において「幼小中つながる通信」を作成し、PRしています。

次に、標準カリキュラムの策定については、平成32年度からの新学習指導要領にあわせて作成しており、一部を30年度から実施するように進めていきます。思考ツール、デジタルスクールの研究をして標準カリキュラムに反映していきます。英語は、本年度、袋井南小学校と高南小学校で、県の事業も兼ねて低学年からの静岡版英語教育のモデル授業を実施しており、英語のカリキュラムを策定してまいります。また、幼小接続については、幼小の教員がアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの検討をしております。その他のキャリア教育等については、魅力ある学校づくり連絡協議会において、各小中学校の連携教育を基に標準カリキュラムをまとめます。資料9頁の評価指標は素案ですが、今年度後半には作成し、結果を袋井市幼小中一貫教育推進委員会などで協議していただく予定です。

関連して、6月15日の市議会民生文教委員会において本件を説明したところ、小中一貫教育が幼小中一貫教育となった経緯と、保育所は含めないのかという質問がありました。これについては、当初は小中一貫教育で検討していましたが、進める過程で、幼稚園・保育所の教育を反映していくこと、5歳児から1年生への連携が大切であることから、本市の場合は、小中一貫に幼稚園・保育所も加えて幼小中一貫教育としたと回答しました。また、今後、財政負担の大きい公立幼稚園を主軸にして維持していくのかという質問もありました。これについては、幼小中一貫教育の「幼」とは、公立だけでなく保育所も含めた義務教育前全般の幼児教育を指しており、公立を中心として組み立てるがそれに限ったことではないこと、公立以外の幼稚園、保育所、認定こども園などへは、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを策定した折に情報提供をしていくことを回答しました。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

ポイントは9頁の評価指標で、ここに掲げられたことが幼小中一貫教育の目的です。幼小中一貫は何のためにやるのかと、いろいろなところで質問されますが、ひとつは、目標Ⅰの今の教育課題を解決するため、それから目標Ⅱで、これからの時代に求められる資質・能力の育成、目標Ⅲでオール袋井による子育て体制の充実、です。評価指標は、その目標を達成したかどうかということは何で測るかという素案なので、項目の多い少ない、内容のよしあしなど意見があると思います。

●前嶋委員

既存の調査名を基にしてその割合を見ていくということですが、例えば、「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合ですが、どういう状態のときに学校が楽しいと思うのか、どうしたら学校が楽しくなるのかを児童生徒に聞くとよいと思います。アンケートを取るときに、楽しいか楽しくないかの選択肢ではなくて、どうしたら楽しくなるのかという投げかけをして、「みんなで何かをするのは楽しい」という「何か」の部分の具体策、また、次の学年への不安があると答える児童生徒へは、それはどんな不安なのかなどを聞くとよいと思います。そして、小学校6年生が答える不安について、中学校1年生が、そこはこうだよと答える場があると、やらされる評価でなくて、自分たちが取り組んだ成果の評価ができると思います。目標に対して単発的な数値で評価するのではなくて、継続的な取り組みの中で効果をあげられるように工夫したらいいと思います。

●鈴木教育長

この目標を達成するためには、子どもたちの自主性や主体性を最大限生かすということで、具体的に考えていきたいと思います。今の時代は、評価指標がないと成果が答えられない。小中一貫教育の基本方針は定めましたが、実施計画の策定についてはこの目標が必要となります。この評価指標の決定はいつごろを予定していますか。

●教育企画課長

第1回の推進委員会で、内容をほぼ固め、第2回の推進委員会で、評価指標の報告をする予定です。

●鈴木教育長

第1回目はいつですか。

●教育企画課長

10月を予定しています。

●鈴木教育長

この第1回の推進委員会に、教育委員会として案を出す前に、教育委員のみなさんの意見を反映した内容とするために協議しています。

●大谷委員

この評価指標は、幼小中一貫教育の評価なのか、教育水準を上げる評価なのか。幼小中一貫教育の成果であれば、例えば小中の壁がなくなったとわかるような指標が良いのではないか。

●教育企画課長

目標Ⅰの⑦に「次の学年への不安がない児童生徒の割合」という指標がありますが、この結果から、学年ごとの段差について検証するようにしています。①から③は学力向上、④から⑦は不登校、⑧、⑨は問題行動、⑩から⑫は自己有用感についての指標となっています。

●上原委員

質問文章を、対象者の年齢にあわせた言語表現にしたほうが良いと思う。また、毎年実施して、経年変化を追うようにしてほしい。

●学校教育課長

上原委員のおっしゃるとおり、低学年と高学年では理解度に差がありますので、質問の文章は、子どもたちが正しく理解できる範囲で作成し、アンケートを取っていきます。これは、毎年、学期ごとに、学校評価という形で行っているもので、経年変化については、同じ子どもたちが、学年を追うごとにどのようにアンケートの結果が変化していったかということを最終的にまとめていきたいと考えています。また、次の学年への不安についてのアンケートに関するのですが、今までのデータを見ていくと、3年生から4年生の時、小学校6年生から中学校1年生の時、中学校3年生から高校1年生の時に段差が出ます。このアンケート項目は、その段差を数値で確認することができるよう立てました。本市が幼小中一貫教育を進めることによって、この段差が低くなってくれば、確かに一貫教育が成功してきていると評価することができます。

●教育部長

評価指標の目標が3つありますが、このグループで評価したほうが良いのか、それとも違う視点でグループ分けしたほうが良いのかという問題もあります。基本方針に基づいて、様々な方策があって、その下に具体的な取り組みがこれから組み込まれてきます。それがはいつて、それぞれの指標がつながる。こういう取り組み・方策でやると、ここの指標値がどうなる、というようなことが見えてくるので、さらにイメージがわいてくるようになります。今はまだそこまでの域に達していないので、現在考えられる内容を示しています。

●鈴木教育長

実際、全国学調の結果が良くて、不登校や問題行動が減ったら、問題はないと思いますが、幼小中一貫教育の実施前・実施後のデータは必要だと思います。

●上原委員

15歳になって卒業して、進学や就職をするときに、袋井市の小中学校に通ってよかった

なと思う子どもが何人いるかということだと思えます。そこまでの途中経過はいろいろあっても、その時にそれを聞けば、一貫教育が成功したかどうかかわかると思えます。

●鈴木教育長

幼稚園の先生には、いまの園児が中1で不登校になるかもしれないというイメージを持ってくださいというようなことをお願いしています。15歳の出口をみんな考えて一緒にやっていきましょうということです。資料8頁のスロープと階段の絵は、スロープのほうが階段よりも高い位置に到達するイメージで描いています。つまり、小中一貫教育とすることで、15歳が今よりグレードアップすることを目指しているのです。

●大谷委員

なぜ小中でなくて、幼小中なのかという話ですが、幼保の頃に早く子どもの特性に気付くことができれば、幼稚園の先生がその子の将来を見据えて、個性を認識しながら幼児教育をすることができて、問題行動や不登校の減少につながる可能性があるからだと思えます。

●鈴木教育長

15歳でグレードを上げようとしたら、その時点でできるだけこぼれることがないようにしようとして、前へ前へと対処していくというのが自然だから、幼小中一貫教育というのは必然的な方向性だと思っています。また、10月に提案するまでに御意見がありましたらお知らせください。

(4) 報第76号 平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

●教育企画課長

前回の教育委員会定例会で御意見をいただきましたが、その後、追加修正して報告いたします。まず、静岡大学教育学部の熊倉先生に、学識経験者ということで御意見をいただき、30頁に掲載しました。9頁の3の12番と18番の評価を見直しました。アドバイザーの熊倉先生から、重点事業に対する手段や目標の記載がない箇所があるとの指摘を受けましたので、不足していた部分を加筆しました。また、前回、委員から御指摘を受けた部分の、16頁の親スキルアップ事業の「平成29年度への対応」を修正しました。19頁の放課後児童クラブ事業の「達成率及び評価の説明」について、具体的な施設名と実施内容を加筆してわかりやすくしました。22頁の学校教育における徳育の推進の重点事業である社会に目を向けた若者の育成の推進について、「手段」及び「目標」欄にそれぞれ加筆しました。同様に、同頁、子どもの学力向上を目指した取組みの重点事業である教育情報化の推進についても加筆しました。32頁からは、アドバイザーから指摘を受けた内容について本市教育委員会の対応を記載しました。

なお、来年度は教育大綱に沿った評価に改める予定です。

[質疑・意見]

●豊田委員

現在は、数値目標の結果に基づいて A、B、C、D の評価をしていますが、以前、平成 23 年度の評価では、実現度と緊急度のマトリクスで表示していました。これが分かりにくいという意見があって現在の形に変わりましたが、この方法をうまく使って、マトリクスの縦横軸に満足度などを入れて評価してはどうでしょうか。

●教育企画課長

来年度に向けて、評価が A B C D でいいのかも含めて、評価方法を検討いたします。

●鈴木教育長

市の総合計画の指標と連動させる必要はありますか。

●教育部長

連動の必要性はありませんが、基本的には、評価をはっきりさせるという傾向があります。例えば 5 段階評価とすると平均的な 3 になることが多いです。いずれにしても、評価の仕方を大きく変えると、その前年との比較が難しくなりますので、そういうことにも配慮して、来年度の評価方法について検討いたします。

(5) 報第 77 号 公印の告示について

●教育企画課長

5 月 18 日付けで教育委員長の職が廃止されたため、委員長及び委員長職務代理者の公印を廃止しましたので報告します。

[質疑・意見]

異議なし

(6) 報第 78 号 寄附品「フレンチホルン」等の受納について

●教育企画課長

周南中学校に楽器、小学校及び図書館に紙芝居、浅羽南小学校にサッカーゴール等の寄附がありましたので報告します。

[質疑・意見]

●豊田委員

この紙芝居は、是非どこかで、子どもたちに読み聞かせをしてあげてほしいと思います。

(7) 報第 79 号 学校給食費の収納状況について

●おいしい給食課長

平成 26 年度から平成 28 年度までの学校給食費の保護者負担分の収納状況を報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]
異議なし

(8) 報第 80 号 多子世帯、ひとり親世帯等の保育料負担軽減について

●すこやか子ども課長

本件は、平成 29 年 4 月 1 日施行の「国が定める特定教育・保育施設等の利用者負担の上限基準額」の改定に基づき、本市の保育料を改定するものです。改定内容は、ひとり親世帯等における低所得世帯の第 1 子の利用者負担額の軽減と、多子世帯等に係る特例措置の拡充ということで市町村民税非課税世帯の第 2 子が無償化します。本年 4 月 1 日に遡及して還付などの対応をします。詳細については資料のとおり。

[質疑・意見]
異議なし

(9) 報第 81 号 保育料の収納状況について

●すこやか子ども課長

平成 26 年度から平成 28 年度までの幼稚園・保育所保育料の収納状況を報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●大谷委員

滞納繰越の方で、市外に転出している方はいますか。

●すこやか子ども課長

います。滞納が続くと高額になるので、児童手当から支払ってもらう場合もあります。

(10) 報第 82 号 平成 29 年度教育用図書の寄贈について

●すこやか子ども課長

袋井東幼稚園ほか 5 幼稚園に、絵本の寄附がありましたので報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]
異議なし

(11) 報第 83 号 教育振興費寄附金等の受納について

●学校教育課長

4月に行われたヤマハレディースカップゴルフ大会において、収益金の一部を寄附いただきましたので報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]
異議なし

(12) 報第 84 号 平成 29 年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について

●学校教育課長

本年度の学校巡回、学校訪問の日程です。学校巡回のほうには、教育委員の皆さんにも別途御案内しておりますのでよろしくお願いいたします。

[質疑・意見]
異議なし

(13) 報第 85 号 袋井市学術交流振興基金運営委員会の解嘱又は委嘱について

●生涯学習課長

平成 29 年 4 月 1 日付けで委嘱した委員のうち市議会議長に変更があり、資料のとおり解嘱又は委嘱をいたしましたので報告します。

[質疑・意見]
異議なし

(14) 報第 86 号 静岡県青少年の非行・被害防止強調月間の取り組みについて

●生涯学習課長

7月が県下一斉の青少年の非行・被害防止強調月間ということで、街頭キャンペーンなどを実施します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]
異議なし

(15) 報第 87 号 山梨地区（祇園）祭典補導本部の設置について

●生涯学習課長

7月15日、16日の2日間、山梨地区（祇園）祭典に係る補導本部を月見の里学遊館に設置します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

異議なし

(16) 報第 88 号 一般社団法人勸農報徳社からの寄附金について

●袋井図書館長

一般社団法人勸農報徳社から、図書館蔵書の充実のために寄附をいただきましたので報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

異議なし

(17) 報第 89 号 袋井市子ども早期療育支援センター運営協議会委員の委嘱又は任命について

●育ちの森所長

前委員の任期満了に伴い、袋井市子ども早期療育支援センター運営協議会委員の委嘱又は任命をしましたので報告します。

[質疑・意見]

異議なし

7 その他

各課から配付資料について説明がありました。

●教育企画課長

幼小中つながる通信 vol. 5～vol. 8

平成 29 年度袋井の教育（第二版）

●生涯学習課長

平成 29 年度公民館まつり等の日程について（ご案内）

●袋井図書館長

袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成 29 年 7 月号

8 閉会

(午後 4 時 20 分閉会)